



Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2006-12-31

清水邦夫さんの『署名人』を読む。

30日に朝、トイレで読んで『脳と意識の地形図』は、「第3章ではなぜ意識を持っているのか」に入った。意識を説明するという「やっかいな問題」はやっかいなままに置いて、意識の働き方から見ていこうということだ。その動きは「自由意志」ということと書かれていた。本箱などに入れてあったここ数年間の年賀状を整理して段ボール箱に集める。そして、今日も麻理がスープおじやを作って昼食。食後仮眠。テレビを点けると、どのチャンネルもタレントや芸能人がわいわい盛り上がっている。3時過ぎ、コーヒーを淹れて飲む。それから、[枯れたアマリリスの花と茎](#)を切ってテーブルに置いて撮って、Blosxomblogに入れる。清水邦夫さんの『署名人』を読み始める。1958年、清水さんが22歳の時に書いた作品で、今年の三月に「サイスタジオ」で文学座の若い人たちの上演で見て、「22歳でこんな凄い作品を書いていた」と、若い時からの清水さんの才能に驚かされたのだった。舞台は明治時代の監獄内の国事犯監房の一室で、三人の囚人の会話が展開する。二人は明治政府の要人の暗殺を企てて捕らえられた男たち、一人は、別の人間が書いた反政府的な文章に署名だけして捕らえられ、書いた者の代わりに服役して金を貰うのを商売にしている男。この男が脱獄を企てる二人のテロリストに殺されるまでの心の葛藤が語られるという内容だ。先ずは、作者は22歳の若さで「署名人」などという存在をよく調べたなあ、と驚かせると同時に、当時の安保闘争が広く行われていた時代に、政治主義に走って殺人を実行する若いテロリストと、蠅一匹殺せない世の中の裏街道に生きる男を対比して、命の持つ意味合いを語り出した力にも驚かされる。「サイスタジオ」の公演の後、清水邦夫さんに「署名人という存在をよく知ってましたね」と聞いたら、「父上の書斎の本の中に見つけた」と話してくれた。『署名人』の途中まで読んで麻理がハンバーグを焼いて、わかめのみそ汁で夕食。食べ終わったところで、野々歩と由梨さんとネムちゃんが仙台のおみやげを持って来る。野々歩に車庫の扉の取っ手を付けて貰う。7時過ぎに帰った後、寝室で仮眠。9時過ぎて風呂に入り、出てから、林檎、菓子、牛乳。亀戸の兄に、毎年暮れにお歳暮を持って行っているが、明日は足腰が痛くて行けないと電話する。兄夫婦も膝が痛み、最近は医者に通って注射しているということ。兄は以前、今のわたしと同じように、座骨神経痛で腰から太股と脚が痛んだのだったが、注射を打って電気を掛けて治ったと言っていた。それを聞いて、わたしのこの痛みも注射で治ると希望が持てた。仕事場に行って、『署名人』を読み終える。それから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:36:32 - shirouyasu - 2 comments

2006-12-30

ちょっと片づけをして、清水邦夫さんの『破れ魂に侵入 -Life Line-』を読む。

29日の朝、トイレで読んで『脳と意識の地形図』には、「性質論」という意識についての新たな二元論のことが書かれてあった。前者はビッグバンと同時に宇宙の物質に意識は存在しているとうもので、自然の岩石が形を変えるのもそこに意識が存在するからだ、というように汎神論的な考え方を。後者は、猫が高等数学を理解できないように、人間の脳では意識を説明できないという考え方をするというのだ。階段に積み上げられている郵便物や送られてきた詩集や本を整理する。といっても、積み方をちょっと変えただけのこと。麻理はチェストの上に置いてある飾りの小物の埃を払って整理した。今日もスープおじやで昼食。ちょっと仮眠。コーヒーを淹れて飲んで、仕事場に行き、[まだ咲き残っているメキシカン](#)

Navigation

[Previous 月](#)
[Next 月](#)
[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Categories

[All](#)
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

Search

[セージの花](#)をBlosxomblogに入れる。それから、清水邦夫さんの『破れ魂に侵入—Life Line—』の台本を読む。この作品は、「東京近郊のボランティア活動『いのちのダイヤル』」の人生相談員同志と相談するために電話を掛けてくるの者たちが電話や面接で話しているうちに、関係がねじれてくるという展開をする内容だった。悩みの相談だが、そこに自殺ということが絡んできて、切迫した会話の展開になっている。麻理が餃子を焼いて、黒豆とおぐらとみそ汁で夕食。食後、寝室に行き、麻理と一緒にフィギュアスケート日本選手権の女子のフリースタイルを見る。浅田真央選手が200点を越える高得点で優勝した。風呂を沸かしてに入る。風呂から出て、林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:17:56 - shirouyasu - No comments

2006-12-29

第3回目の「仙骨裂孔ブロック注射」を受ける。

28日の朝は、青山病院整形外科の予約が10時だったので、7時に起床して朝食を食べ、朝刊を読みながら「芋たこなんきん」と「君の名は」を見た。トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、量子力学の「量子のもつれ」を使った意識と脳の因果関係を説明する学説が紹介されていたが、理解できなかった。足腰が痛いのでどうしても動作が緩慢になり出かける支度できたのが9時ちょっと前だった。新聞を読み終えて、9時10分程過ぎて麻理にタクシーを呼んできて貰い、青山病院へ行く。10時前に着いて、診察を受ける患者の人が少なかったので、ちょっと待って、10時15分に小澤医師によって「仙骨裂孔ブロック注射」をされる。脊椎の末端に針を刺しての注射。注射そのものはほとんど痛くないが、注射した後、30分痛い方の脚腰を下に横になって安静にしている。このとき脚と腰が非常に痛かった。それから上を向いて寝て30分安静にしている。安静にしている間、演劇の成立について考えていた。注射直後と15分置き30分置きに血圧を測った。普段140台の血圧が110台に下がっていた。11時15分を廻って終わり、小澤医師と痛みがなくなったわけではないがよくなっているのを確認して、次回の施療の日を1月5日と予約を決めた。会計をすませて暖か過ぎるくらいの冬の空気のなかを休み休み歩いて、「こどもの城」の脇でタクシーを拾って帰宅した。麻理とスープおじやの昼食。[今日咲いたハイビスカスの花](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。それからちょっと仮眠。3時過ぎにコーヒーを淹れて飲む。そこに、宅急便で送られてきた薦田さんからお見舞いの菓子「コンフィチュールダクワーズのノアゼット・フランボワーズ」が届いたので、それを一個食べる。仕事場に降りて、清水邦夫さんの経歴が出ているWebサイトを探して、作品経歴を読み、それをコピーしてExcelで作直す。7時前に麻理がハンバーグを焼いて夕食。その後、二人でフィギュアスケートの日本選手権のテレビ番組を見ながら、わたしはWebで調べた煮方で黒豆を煮る。「ほたる火」で1時間煮ると書いてあった通りにやってみた。ちょっと砂糖を入れすぎたか。仕事場に行き、清水邦夫さんの年譜と作品リストを見る。わたしは、清水さんの若い頃の作品はほとんど見てないで、清水さんが多摩美に赴任してから作品の幾つかを見ただけだった。清水邦夫さんは1958年のデビュー作以来、ほとんど毎年、多い年は年に三本とか四本も書いて、今までに六〇本余りの作品を書いているのだった。書くだけでなく演出もしているから演劇一筋に人だと思った。しかし、その年譜には、清水さんが多摩美の映像演劇学科の教授になったことは書いてなかった。この「灰皿町blog日記」を書いていると、清水さんから電話があり、彼の知り合いの医師に聞いたところによって、手術することを勧めてくれた。心配してくれて、ありがとう。「灰皿町blog日記」を書き終える。居間に行き、林檎、薩摩芋、ノアゼット・フランボワーズ一個、牛乳。菓。

00:11:21 - shirouyasu - No comments

2006-12-28

Login

ログインID:

パスワード:

 このPCを他の人と共用する

Powered by



清水邦夫さんの『オフィーリア幻想』と『イエスタディ』を読む。

27日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、アメリカの学者ジョン・サールという人の「意識およびその他の精神現象は、脳の内部で起こる神経生物学的プロセスによって引き起こされ、脳の構造のなかで現実化される。意識のある精神は脳のプロセスが原因であり、それ自体が高いレベルでの脳の特徴となる」という学説が詳しく引用して紹介されていた。[台風一過のような空を背景に枯れ草のシルエット](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。清水邦夫さんの作品や年譜をWebで調べて読む。今日もおじやスープで麻理と昼食。ちょっと仮眠。コーヒーを淹れて飲んだ後、びっこ引いて階段を降りる自分の姿と、その壁に映る影をminiDVで撮影する。それから、仕事場で、来年の春、多摩美映像演劇学科を定年退職する清水邦夫さんの「退職記念イベント」で上演される三つの作品『オフィーリア幻想』『イエスタディ』『破れた魂に侵入 -Life Line』の台本のうちの『オフィーリア幻想』を読む。この作品は、廃線になった駅の近くにある精神病院の患者や医師看護婦が、その駅のプラットフォームで、それぞれの思いこみの関係を展開するという内容で、結局人間の存在は不確かだが、舞台のセリフとして述べられる言葉だけが確かだと語っているように思えた。夕刊を読んだ後、昨日のおでんに大根その他の野菜の具を足して、麻理と夕食。寝室でテレビを点けて、うとうととして見ながら仮眠。8時過ぎに風呂に入る。風呂から出て、『イエスタディ』を読む。この作品は、終戦の年の冬、姉と中学生に弟がやっている地方の写真館に、東京から突然疎開してきた四人の兄妹たちがしばらく暮らして、彼らの非戦的態度のために町の者たちから暴力を受けて、長崎に引っ越していくが、その朝、記念写真を撮らなかったのを後に悔やむというストーリーで、二組の兄妹の交流と彼らの生き方を通して、生きながらはたかたがと語り出されていると思えた。二つの台本を読んでいて、いきなり猟銃が出て来たり、張り子の馬が出て来たり、セリフの言葉と役者の身体との関係がリアルに感じさせられるところがあった。その後、「灰皿町blog日記」を書く。居間に行って、林檎、薩摩芋、お菓子紅いもタルト、牛乳。そして葉。

00:14:20 - shirouyasu - No comments

2006-12-27

年賀状の住所を印刷する。

26日の朝も、起床すると仕事場のeMacの電源を入れて起動するかどうかを確かめた。今日はすんなりと起動した。朝食の後、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、量子力学による効果が脳内で起こっていて、それが意識だという説が紹介されていた。この量子力学による意識の説明というのは、量子コンピュータに繋がっていくらしい。[昨夜茎が折れていたアマリリスの花](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。mixiやメールを見る。それから、昨日に引き続き年賀状の裏面を印刷する。ところが、始め、はがきの当たりがちょっと狂っていて10枚ほど失敗してしまう。全部で200枚余り刷った。2時過ぎに昨日と同じコーンクリームスープで麻理と昼食。ちょっと仮眠。仕事場に行って、住所の印刷を始める。10枚連続、20枚連続、30枚連続と続けて刷る枚数を増やして、5時半頃には200枚余りの住所の印刷を終える。6時過ぎに麻理が出かけると言っていたこともあって、5時半過ぎにお腹がすいたので、麻理が午前中に煮て毛布でくるんで味を染みこませたおでんで早めの夕食にした。鍋をそのまま毛布にくるんで置くと味がしみるといのは本当だ。雨の中、出かける麻理に年賀状の投函を頼む。風呂に火を付けて、寝室で、投稿のビデオ映像を集めた番組の、家で飼っているシマリスが音楽を掛けると自分の巣に戻って激しくダンスするのを見ながら、うとうととして仮眠。8時過ぎに風呂に入る。仕事場に行って、mixiを見ると、ハンドルネーム「ゆっぴー」さんが、谷山浩子さんの「空飛ぶ橋 1. 2」という歌の歌詞を書いたのが「わたしこと鈴木志郎康」か、という質問が出ていた。それに答えるために、22年前のスケジュール帳を探し出して、1984年4月14日に高円寺会館で催された同人詩誌「杏拾巻」の朗読イ

ベント「空飛ぶ橋」のことを確かめて、たしかにわたしが歌詞を書き谷山浩子さんが作曲して歌ったということをコメントに書いた。あのころ、わたしの「少女マンガ論」が気に入ったという谷山さんと文通していて、イベントを盛り上げるために協力をお願いしたのだった。コメントを書いた後、居間に行って、林檎、薩摩芋、マドレーヌ、牛乳。また、仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。外は雨が激しい吹き降りになっているようだ。

00:24:27 - shirouyasu - No comments

2006-12-26

年賀状を作ってプリントする。

25日の朝は、9時頃、起床すると直ぐに仕事場に行って、起動できるかどうかと、eMacに電源を入れたが、画面中央に丸い玉が出て点滅している。昨夜もそれから起動したから起動するだろうとそのままにして、朝食を作って食べて、トイレに行って、仕事場に戻ったら、ちゃんと起動していた。トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識と脳という物質の関係を説くために、量子物理学における因果関係が持ち込まれるというようなことが書かれていた。沖縄の野村尚志君からクリスマスカードとお見舞いのお菓子が送られてきた。ありがとう。mixiでお礼のメッセージを送る。ここ数年家にある鉢植えの[シクラメンが一つの花を咲かせている](#)のを撮る。仕事場に行き、昨夜世話になったPowerBookG4を片づけて、一輪咲きのシクラメンをBlosxomblogに入れる。それから、写真展で展示した写真を使って、年賀状を作り始めた。家において身体を動かさないので、今日の昼食はご飯をちょっと入れたコーンクリームスープだけにする。食後も年賀状作り。夕方までに十数枚作り直してようやく決定版ができた。それから印刷を始め、7時過ぎの夕食までに100枚ぐらいプリントした。夕食は、麻理が昨日の大根の煮付けに大根をなどを増やして、ホタテを入れて煮たのと、茄子のみそ汁で食べる。食後仮眠。テレビを見て、風呂に入り、出てからメールの返事を書いたりして、「灰皿町blog日記」を書く。居間に行って、林檎、薩摩芋、和菓子、牛乳。アマリリスの花の茎が折れていた。そして薬を飲む。

00:27:20 - shirouyasu - No comments

2006-12-25

eMacがクラッシュしたかと、慌てたり、ほっとしたり。

24日は、昨夜寝るとき背中にホッカイロを貼って寝たせいか朝方までよく寝て、起きたのが10時を廻っていた。朝食とした食事を食べ終わったのは、12時近く、高校駅伝の女子のゴールをちらちら見ながらだった。『脳と意識の地形図』には、創発論的に考えられた意識が脳に影響を与える因果関係のあり方が書かれていた。タイヤを形成する一個の分子はタイヤという構造の部分として存在して、タイヤが動くことによって運動するという関係にあるというわけ、ということ。仕事場に行って、[シクラメンの花の一つ](#)をBlosxomblogに入れる。それから、最近、eMacのシステム終了時に、Mailが終了しないので強制終了させなければならないことがしばしば起るのが気になっていたので、デフラグを掛けようと、Norton UtilitiesのCDから起動して、ドクターを走らせて後、「SpeedDisk」をMacintoshHDに仕掛けたら、ファイルの検査の後、デフラグが始まった時点で「SpeedDisk」が飛んでしまった。二度ほどそうなって、できないので、やめてNorton Utilitiesを終了して再起動しようとしたら、画面の中央に丸い玉が出て起動できなくなった。そして、CDドライブからCDを取り出すこともできなくなった。そこで、慌てたが、一応夕食をすませ後、リカバリーさせたままになっていたPowerBookG4の環境を整備するかたわら、Norton UtilitiesのVolume Recoverでなんとかならないかと仕掛けて、風呂に入り出てからもファイル検索は終わらない。リンゴと薩摩芋を食べて、牛乳を飲んで、仕事場に来てみたら、60何万のファイルの数を表示したところでフリーズしてしまっ

ていた。もう駄目と、eMacのスイッチを切って、PowerBookG4でこの「灰皿町blog日記」を書き始めたが、あきらめきれず、書きながらeMacを何度か起動しているうちに、丸い玉が？マークに変わって、eMacのMacOSX 10.4.8が起動し始めたではないですか、いやー、よかったよかったというところで、今日は終わります。

01:25:52 - shirouyasu - No comments

2006-12-24

[「みみのまばたき」](#)の鈴木志郎康映像作品評に感激。

23日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「創発論」の、部分の総和を超えたものの例として、「水素と酸素は塩を溶かさないが、その化合物の水は溶かすし、ものを濡らす」ということが書いてあった。しかし、創発論だと意識の存在は物質との因果関係が切れてしまい、意識が脳に影響を与えることが説明できなくなってしまうという。つまり、人間は意識的に判断して物事を決めたり、運動したりするが、それは意識が脳に影響を与えているということであり、その説明がつかないということだ。メールやmixiを見た後、[枯れたアマリリスの花](#)をBlosxomblogに入れる。それから、日録の12月分を「灰皿町blog日記」を見て埋める。蕎麦を茹で、厚揚げ入りのつゆ蕎麦にして昼食。食後仮眠。起きて、コーヒーを淹れて飲む。日録の昨日までのところを書く。俳優の長畑ゆたかさんからわたしの足腰の痛みを思って、腰痛を治す整体の「自然良能会」をご自分の経験から勧めてくれるメールが来る。青山病院の治療でうまく行かなかった時に紹介して貰うことにすると返事する。昨日煮た南瓜と大根のみそ汁で夕食。食後仮眠、目を覚まして、土曜ドラマスペシャル「ディロン〜クリスマスの約束〜」を見る。福祉介護犬と母子再会のドラマ。風呂に火を付けて仕事場に行き、mixiを見ると、野村健太さんのブログ「[みみのまばたき](#)」にこの前お貸した映像作品の批評が載っていた。早速読んでみると、野村さんは、『風を追って』『オブリク振り』『風の積分』『隠喩の手』『時には眼を止めて』『角の辺り』の六つの作品を丁寧に見て、作者の意図を読み取っていくという批評を書かいていた。わたしとしては自分の映像作品が作品の内容に即して書かれたことがなかったので感激した。風呂に入り、出たから林檎、薩摩芋、牛乳。それから薬を飲む。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:33:18 - shirouyasu - No comments

2006-12-23

第2回目の「仙骨裂孔ブロック注射」を受ける。

22日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「複雑なシステムは、部分の総和を超えた何かを生み出すことができる」という「創発論」のことが書いてあった。脳細胞の総和で意識は生まれてくるというというわけだ。麻理に小林医院に行って血圧降下剤の処方箋を貰い、薬を買ってきて貰う。冬至の南瓜も買ってくる。年賀状に使おうと思った写真展の写真をベタ焼きから複写する。[カニサボテンのきれいな花](#)をBlosxomblogに入れて、1時頃、うどんを作ってもらい、昼食。2時廻って、麻理が井の頭通りまでいって拾ってきたタクシーで青山病院へ。整形外科の受付でちょっと待て、小澤医師の診察を受ける。ブロック注射でよくなっているのを確認して、後何回かブロック注射して、後は点滴に換えると言われる。希望が持てたという感じ。それから第2回目の「仙骨裂孔ブロック注射」を受ける。針を刺す時ちょっと痛い。30分痛い方を下に横になって安静、血圧測定、更に30分上向きに安静、血圧測定と1時間寝ていて終わる。注射する前より右脚に力が入る。痛みも減っている。というわけで、そろそろと病院の門まで歩いて丁度来たタクシーで帰宅。麻理は隣の子供たちの頼まれた世話に出かける。わたしは麻理が買ってきた南瓜を煮て、長ネギのみそ汁を作る。夕刊を見て、7時廻って、南瓜の煮付けとみそ汁と牛肉の佃煮で夕食。食後仮眠。8時半頃仕事場へ行って、年賀状を作り始

める。七、八枚作ってみたが気に入ったのでできなかった。居間で林檎、カステラ、薩摩芋、煎餅、牛乳。薬を飲む。また仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。今朝まで後ろ向きにしか降りられなかった階段を、身体を壁に寄り掛かければ、前向きに降りられるようになった。このままよくなってくれと願う。

01:48:47 - shirouyasu - No comments

2006-12-22

日録を埋める。

21日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識と脳のことをソフトとハードの関係のように考えても、そこでの自由意志や倫理観というものとは解決されないとかかれていた。ポストまで歩いて手紙を出しに行ったが、往復300メートルぐらい距離の、最後の10メートルぐらいが非常にきつかった。玄関に入って台に座って一息ついた。やはりこれでは多摩美に出校するのは無理だ。君子蘭の実をBlosxomblogに入れる。麻理とうどんで昼食。仮眠。3時過ぎに起きてコーヒーを淹れて飲む。それから、仕事場に行って「灰皿町blog日記」を見ながら11月分の日録を埋める。この月に詩を一つ書き、野村健太さんに映像作品を次々にDVDにして送って、見て貰うというチャンスが生まれたのだった。今月に入って福田さんにも『草の影を刈る』を貸した。こういうやり方で映像作品を見て貰うということは今までになかったことだ。米をといで夕刊を見る。炊飯器のスイッチを入れて、また仕事場に戻って日録を埋める。7時過ぎに麻理が帰ってきて、大根や蕪やちくわを入れて煮足したおでんの続きで夕食。蕪がとろけるように柔らかく美味しい。食後、寝室のベッドで横になってNHK時代劇を見る。清水昶さんから電話が来る。先日のブラウザが小さくなってしまう件は、Appleに電話しても分からなかったということ。わたしは自分が使っているブラウザの「Firefox」を勧める。風呂に火を付けて、日録を埋める作業。11月分が終わる。風呂に入る。出てから、林檎、カステラ、薩摩芋小さな切れ端、牛乳。仕事場に下りてメールなど見て、返事を書き、「灰皿町blog日記」を書く。

00:22:26 - shirouyasu - No comments

2006-12-21

寝室をちょっと掃除する。

20日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識のすべてが脳の状態によるという同一論では、言語活動がなされる左脳が脳卒中で駄目になった人の場合、右脳が言語活動するようになるということの説明が出来なくなるので、意識と脳の状態の関係をコンピュータのソフトとハードの関係のように考えるという説が出て来たとか書いてあった。寝室の壁の空調の上など、またCDのケースなど、室内のものの上の埃を取ってちょっと掃除する。送られてきた佃煮のお礼の手紙を書く。うどんを茹でて天ぷらうどんで昼食。食後、半分眠りながらテレビの「新・京都迷宮案内」を見る。コーヒーを淹れて飲む。静かな感情の流れがある。仕事場に行って、Blosxomblogにヒメジオンの花を入れる。mixiやWebを見たりする。居間に行って夕刊を見る。麻理が母のところから帰ってきて、「疲れた」というので、おでんで早めの夕食。食後、多摩美映像演劇学科の教務主任の加納さんに電話して、明日はどうも出校出来そうもないので、「ドキュメンタリー映画論」の期末試験の監督を代わってやって貰うように頼む。加納さんから足腰の痛みを心配しているという御見舞いの言葉を貰う。その後寝室で横になって、NHK「クローズアップ現代」の「生活保護から抜け出せますか」を見て、居間に行って「亀田興毅対ファン・ランダエダ」のボクシングを見る。亀田が勝った。仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を読んで、10月分の日録を20日から31日まで埋める。写真展の日々の、来た人たちの姿のイメージが次々に去って行った。居間に行って、林檎、薩摩芋、和菓子一個、牛乳。また仕事場に戻ったところで、萩原朔美さんから電話があっ

て、先日贈った色紙について「格好いい」という感想と御見舞いの言葉を貰う。それから「灰皿町blog日記」を書く。

00:04:03 - shirouyasu - No comments

2006-12-20

おでんを作る。

19日の朝、目が覚めると、昨日、名前と顔が結びつかなかった栗原みえさんの姿が浮かんだ。イメージフォーラムの卒業生で、上映会によく来ている目がくりっとしたボーイッシュな可愛い子だ。アニメ作品を作る人ではなくイメージを自分の感性でまとめていく作品を作っていたと思う。栗原さんが判って安心した。今朝は、階段を降りるとき後ろ向きに降りた方が痛みが楽なのに気が付いた。トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、物質主義的一元論だと人間が持つ自由意志とか道徳意識とか、また超越的な意識とかが否定されてしまうが、それには直感的な反発を感じてしまう、ということが書いてあった。トイレから出てmixiを見てみると、買い物に行っていた麻理がおでんの具を買ってきて、そのまま出かけたので、わたしは戴いた大根を切って、買ってきたジャガイモの皮をむいて切って鍋に入れ、昆布とかこんにゃくとかつみれとかはんぺんなど、おでんの具とおでんの元を入れて煮始める。どんどん具を入れていったら、沸騰してきて、はんぺんなどの具が膨らんで鍋から溢ればかりになってしまった。溢れてはいけないと、具を小さい鍋に若干移して、それはそれで煮て、つまり大小の二つの鍋でおでんを煮ることになった。小さい鍋のおでんは昼に食べることにして、大きい鍋は、麻理に言われたように、床に広げた新聞紙でくるんで、それを更に毛布で包んで夕方まで置くことにした。そうするとおでんに味が籠もって美味しくなるというのだ。昼食はおでんとご飯少々。食後、寝室のベッドで橋爪功の「新・京都迷宮案内」を半分眠りながら見る。仕事場に行って、Blosxomblogに[枯れたアマリリスの花](#)を入れ、書いてなかった日録の10月の分を「灰皿町blog日記」を見て、書き込んでいく。10日分書いたところで、居間に行って夕刊を見る。また仕事場に戻って、メールを見ると栗原みえさんからメールが来ていて、間違いなく今朝思い当たったあの上映会でよく行き会うイメージフォーラム17期生の栗原さんだった。また、日録を埋める作業を続け20日分まで書く。7時過ぎて、毛布に包んで置いた鍋を火に掛けて温めて、おでんで夕食。食後、寝室のベッドで仮眠。仕事場に下りて、栗原さんがメールで教えてくれた「[ペインクリニック](#)」というわたしの痛みの治療法のことを書いたサイトを見て、彼女にメールの返事を書く。それから、「灰皿町blog日記」を書く。居間に行って、林檎、薩摩芋、和菓子、煎餅を食べて、牛乳を飲んでから薬を飲む。

00:35:06 - shirouyasu - 2 comments

2006-12-19

変な日だった。

18日の朝、といっても昼近く、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、物質主義的一元論の同一論のことが書いてあった。意識は脳の状態そのもので外には出ない。つまり、温度が運動エネルギーで、運動エネルギーが温度ということと同じだという。麻理の授業計画の作文の話をしていると、長田典子さんから痛みの慰めにとシクラメンの鉢と股関節体操のパンフが送られてきた。長田さん、ありがとう。それからシアターXの上田さんから林檎が一箱送られてきて、電話もあった。ありがとうございます。早速、お二人に礼状のメールと手紙を書く。と、そこに栗原みえさんから痛み止めのマッサージ用「ホットゲル」とFRUITY KILLER TUNEのCDが入った御見舞いの手紙が来た。栗原さんは手紙の中で「先生」と書いているから、どこかで教えた人だが失念している。申し訳ない。で、いろいろと卒業生名簿をで探し、ファイル検索で探し、Web検索で探して、やっとイメージフォーラムの卒業生でアニメ作品を作っている人らしいと判った。ありがとう。そうこうして

いるうちに、珍しく清水昶さんから電話が掛かり、MacのOSXに変えたら、彼の掲示板「[新俳句航海日誌](#)」の表示が三分一の大きさにしか開かないけど、どうしたらいいかという。わたしははっきりディスプレイの解像度の問題だと思いこみ、その設定の仕方を教えるがどうも違うらしい。何か良く分からないうちに、マシンを換えたのに掲示板の登録をちゃんとしてないからではないかということになって、電話は切れた。この電話の途中で、麻理がカレーうどんを作って昼食。食後、送られてきたCDのミュージックを聴きながら、栗原さんにお礼の手紙を書く。それからしばらくして夕方近くになって、書いた手紙を坂の下のポストに出しに行く。雲が色づいた冬の寒空が綺麗だった。ポストまでの往復300メートルの距離が、今のところ歩くのがやっとというところのようだ。家に戻って、米をといで炊飯器のスイッチを入れ、ちょっと火を入れたジャガイモと大根を残りのカレーの具に足して火に掛ける、和菓子を食べて、お茶を淹れて飲む。麻理は出かける。仕事場で、[長田さんが送ってくれたシクラメンの花](#)をBlosxomblogに入れる。今日の変な一日を日録に書いたが、順序が混乱してうまく書けない。7時過ぎて、トマトを切って、カレーで一人夕食。食後、寝室に行って加湿器を付けて仮眠。テレビの「水戸黄門」を半分眠りながら見る。麻理が帰ってきて話を聞き、仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書き、居間に行って林檎、薩摩芋、和菓子小一個、煎餅を食べ、牛乳を飲む。このとき、上田さんが送ってくれた林檎を口にして、はっとして、昼間上田さんに書いた礼状の中に、「蜜柑」と書いてしまったのではないかと思ひ当たり、そのファイルを見ると「林檎」ではなく「蜜柑」とあり、間違っていたのだった。早速、お詫びの手紙を書き、痛い脚を引きずってポストに出しに行った。実に、最後の最後まで、今日は変な日だった。

01:01:52 - shirouyasu - No comments

2006-12-18

次々にテレビを見た。

17日の朝、朝食を食べながら、朝日新聞の朝刊で、ドイツの人たちが戦争の被害者として運動しているという記事を読んだ。ポツダム協定で終戦時にポーランドの国境がソ連によって200キロ西に移動させられ、1200万人のドイツ人と数百万人のポーランド人が強制移住させられたというのだ。また、終戦時ベルリンの10万人ぐらいの女性がソ連兵にレイプされたということだ。それらのドイツの人たちが自分たちは被害者だと主張しているという記事。そういうことは全然知らなかった。トイレに行って読んだ『脳と意識の地形図』には、意識の物質主義一元論には、意識の存在を否定する消去主義と物質と意識を同じものとする同一論があると書いてあった。消去主義は痛みさえも刺激に対する神経活動として認めず、経験も認めないし、クオリアを余剰のものとするということだ。仕事場に行って、eMacにスイッチを入れて、脚が痛いことを心配してくれるメールやmixiのメッセージに返事を書く。昨日の白井さん宛の手紙から「人生の転機」という言葉を使うようになった。教員生活が終わるということと足腰の痛みが重なってこの言葉を使わせている。[送き乱れたカニサボテンの花](#)をBlosxomblogに入れる。2時過ぎて、カレーうどんを作って昼食。神奈川県代表になった柔道少年のテレビドキュメンタリーの番組を何となく見てしまい、更にベッドに横になったまま、NHKの番組でレポーターがサイモンとガーファンクルの「明日に架ける橋」の歌を巡ってアメリカをはじめ、アフリカなどに行くのを、半分眠りながら見てしまう。南アフリカでは、この歌がアパルトヘイト反対運動に大きな影響を与えて、教会の聖歌になっている、ということは初めて知った。仕事場に行って、八月九月の日録に書いてなかったところを、「灰皿町blog日記」を参考に主なことを書き込む。この夏、自分がしていたことを反省することになる。名古屋の津ヶ谷伸子伸子さんから彼女が撮った写真と母上の畑から取れた野菜が入った箱が送られてくる。コーヒーを淹れて、彼女が送ってくれた菓子を食べる。また仕事場に戻って、日録をうめる作業。7時過ぎて、麻理が帰ってきて夕食はすませてきたというので、カレーを温めて夕食。「グランプリファイナル」のテレビ番組を見る。昨日とは違って、浅野選手が3回転倒。わたし

は歩く訓練として自宅の廻りの一郭を歩く。風呂に入る。出てから、また、テレビでやっていた「007もの」を、林檎と菓子を食べ、牛乳を飲みながら、途中から終わりまで見てしまう。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:10:05 - shirouyasu - No comments

2006-12-17

ポーク野菜カレーを作る。

16日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、一元論として、世界のすべては神が与えた概念によって出来ているというバークリーの観念論と、その正反対の物質主義の一元論が紹介されていた。Blosxomblogに[色づいた山吹の葉](#)を入れる。書肆山田の鈴木一民さんに電話する。薩摩芋を贈ってくれた白井さんに礼状を書き、『極私的な多摩王の感傷』をDVDに焼いて同封する。自転車でパルクエに行きカレーの食材として、玉葱、ジャガイモ、ハス、牛蒡、グリーンピースなど、またドレッシング、牛乳、かき揚げ、野菜の天ぷらなどを買って、手紙を投函して、帰る。歩くのは困難だが、漕ぐのに力がある坂道は駄目だが、自転車には乗れる。3時近くかき揚げと野菜天ぷらで天ぷらうどんを作って昼食。寝室のベッドに横になって、「日本音楽コンクール本審査」の番組を見ながらうとうとする。麻理が帰ってきて、隣のベッドに横になって一緒に見ていた。5時頃起きて、カレーを作り始める。6時過ぎに出来て、麻理と早めの夕食。また、寝室のベッドに行き「フィギュアスケート・グランプリファイナル」の番組を見る。それから、仕事場に行って、この日記を読んでわたしの身体のことを気遣ってくれるメールにお礼の返事を書いて、居間に行って林檎、薩摩芋、カステラ、煎餅、牛乳。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:12:32 - shirouyasu - No comments

2006-12-16

青山病院で「仙骨裂孔ブロック注射」をされる

15日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、古代の哲学者のアリストテレスなど一元論的な考えで、万物には意識の影が存在するというように信じられていたらしいが、デカルトに至って意識と身体ははっきりと別物とされ、脳の松下体が靈魂の取り道になっていると考えられていたという。足腰の痛みを軽減しようと、以前通っていた近くの松岡接骨院へ自転車で行く。麻理が心配して自転車で一緒に来てくれる。ところが、今日は午後3時からということで、東北沢の駅前の整形外科まで行くが気が進まずまた家に戻る。電話で青山病院の予約を取ろうとしたが、一杯だといわれる。予約無しでも待てば見て貰えるということなので、今日は担当の小澤医師が来ている日なので行くことにする。「るしおる」の原稿を書き山田にメールで送ってから、1時過ぎに厚揚げ入りのうどんの昼食を食べて、麻理にタクシーを拾ってきて貰い、青山病院に行く。それほど待たずに診察して貰い、MRIで腰の辺りを撮って、脊椎の腰の辺りの狭窄状態のデータを取り、お尻の穴のちょっと上のところから仙骨裂孔ブロック注射をされた。小澤医師は写真を見せて詳しく説明してくれた。5時半過ぎに終わる。かなり痛みが無くなる。小澤医師の話では、この注射で「腰部脊椎狭窄症」が治るわけではないが、痛みが取れば（命に別状は無いのだから）それでよしとすることだという。痛みが取れなければ、更に腰部硬膜外ブロックをして、最終的には骨を削る手術することになるということ。会計をすませ、携帯でタクシーを呼んで帰宅。四国の白井宏さんから薩摩芋の「なると金時」が一箱送られて来ていた。ご飯を炊いて、ジャガイモと玉葱の入ったオムレツを作り、大根のみそ汁を作って夕食。食後仮眠。9時過ぎ、見に行くことにしていた勅使川原三郎の「ガラスノ牙」をわたしの代わりに見に行った麻理が帰ってきて話してくれた。薩摩芋を蒸かす。仕事場を下りて、Webで「仙骨裂孔ブロック」について検索を掛けて幾つものサイトと見る。[夜のアマリス](#)を

Blosxomblogに入れる。それから「灰皿町blog日記」を書く。これから、林檎、薩摩芋を食べて、牛乳を飲んで寝る。

00:52:40 - shirouyasu - No comments

2006-12-15

家の中で杖を突いて歩く。

14日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「意識」を空間や時間のよう物理的要素とするという仮説に対する反論を述べる説が紹介されていた。意識は「やっかいな問題」というが、こういう仮説や反論を読むというのもやっかいなことだと感じた。多摩美映像演劇学科の卒業展の最終日なので、なんとかして行って、これまでに見てなかった作品を見たいと思ったが、足腰が痛くて思うように動けないので行けなくなり、残念だった。行けない旨をmixiのメッセージで二、三の学生に送る。それから、昨日聞いた「間歇性跛行」ということをWebで調べる。間歇性跛行には腰部脊柱管狭窄症と閉塞性動脈硬化症の二つの場合があって、その症状の比較を見ると、全く違うところが一つあり、自転車に乗ったときに痛いか痛くないかということで、痛ければ閉塞性動脈硬化の方で、痛くなければ腰部脊柱管狭窄の方だということだ。わたしは自転車では痛くないので腰部脊柱管狭窄症ということのようで、青山病院の診断と一致する。それにしても、昨日よりも一層痛くなって、とうとう家の中で移動するのに杖を使うようになった。杖と行っても、照明用のポールを短くして使った。2時頃、麻理がおでんの具を煮込んだうどんで昼食。ちょっと仮眠。その後、仕事場へ下りて昨夜書いた原稿をプリントして見直す。5時頃、由梨と野々歩とネムが、仙台のメディアテークで展示上映している由梨の新作映像作品のDVDを持ってきて見る。自作自演で、象徴的な世界を描いた作品として、分かり難いところもあるが見応えはある。感じたところを由梨に話す。彼らが帰ったあと、[カタバミの花](#)をBlosxomblogに入れる。それから、麻理が出かける前に焼いていった餃子とみそ汁を温めて夕食。仮眠。風呂を沸かして入る。風呂から出て、林檎、煎餅、牛乳。牛乳を飲みながら、「教育基本法」が成立したニュースを見る。仕事場に戻って、『機 ーともに震える言葉』についての原稿を書き上げる。それから「灰皿町blog日記」を書く。

00:39:18 - shirouyasu - No comments

2006-12-14

薦田愛さんの詩集『流離縁起』を読み終える。

13日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識を科学の対象にするということは、意識を物質的な現象として捉え、一元的に考えるとうことだが、哲学的には意識と身体を切り離して二元的に考える者が多い、と書いてあった。Webやメールなど見てから、12時に家を出て代々木上原駅まで自転車で行って、小田急で下北沢で井の頭線に乗り換えて吉祥寺へ。十字式健康普及会へ行って施療して貰う。先生は股関節と自律神経の心臓もと言ったの聞いて、青山病院とほぼ同じ診断だと思い当たった。施療して貰ってその場では痛みは無くなったが、帰り下北沢で下車したとき、また痛くなった。代々木上原で降りて、自転車で漢方薬局の有村堂に行き、コンドロイチンのサプリメントを買い、脚腰の痛みのことを話すと、「ちょっと歩いて痛くなり、休むと痛みが引くというのは、血液の流れが悪くなって起こる間歇性跛行ではないか、血行を良くする薬がある」と言われた。それは「レッダームDX」というサプリメント。そこで、わらにもすがるといって買ってしまった。八百屋で林檎を買って、自転車で帰宅。2時半頃うどんを茹でて、野菜天ぷらうどん、麻理と昼食。仮眠。薦田愛さんの詩集『流離縁起』を読み終える。7時半頃ご飯を炊いて、麻理が帰ってきたので、昨日の大根と牛肉の煮物とみそ汁と一緒に夕食。仮眠。風呂を沸かし、麻理に髪の毛を切って貰い、風呂に入る。出て、林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。仕事場に行つて『機 ーともに震える言

葉』についての原稿を書き、Blosxomblogに[また咲いたハイビスカスの花](#)を入れる。それから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:37:21 - shirouyasu - No comments

2006-12-13

大根と牛肉とさやいんげんを煮る。

12日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、量子力学の発見から「意識」が再び科学研究の対象になってきたということが書いてあった。それは、fMRIなどで脳の様子が画像でみることができるようになったからだという。昼頃、雨が降らないうちにと、右足を引きずるようにして自転車に乗ってパルクエに行き、大根と牛肉とさやいんげんとパンとトマトと牛乳とかき揚げなどを買って帰る。帰り、雨が降り出して急いで漕いで帰る。このためか、今日は一日中、右大腿の痛みがひどい。福田光一さんから、貸した『草の影を刈る』のDVDが丁寧な感想の手紙が付いて戻ってくる。受け取ったというメールを出す。福田さんのことを戸田桂太さんに手紙に書く。この一月の間で、四十歳代の二人の男性が『草の影を刈る』を見たわけだ。うどんを茹でて、買って来たかき揚げと野菜の天ぷらで天ぷらうどんを作って、2時過ぎに昼食。眠くなって仮眠。時間が過ぎる。5時頃から大根と牛肉を煮始める。大根と牛肉は初めて煮るので気を遣う。ほうれん草を茹で、大根のみそ汁を作って、夕刊を見て、仕事場に行ってBlosxomblogに[枯れていくアマリリスの花](#)を入れる。麻理が帰ってきて、7時半過ぎに大根と牛肉の煮物と一緒に夕食。食後仮眠、眠ってしまう。9時過ぎに起きて、風呂に火を付けて、テレビドラマ『役者魂』を途中から見て、風呂に入る。麻理に温湿布の貼り薬を薬局で買ってきて貰って、風呂から出て貼る。仕事場へ行って、薦田さんの詩集『流離縁起』を読む。12時廻って、林檎、薩摩芋、牛乳。また仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

00:55:27 - shirouyasu - No comments

2006-12-12

多摩美映像演劇の卒制発表会を「BankArt1929」へ見に行く。

11日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識を究明する「やっかいな問題」を解決する、アメリカ人の学者の仮説が紹介されていた。それによると、意識を空間や時間のようにひとつの「要素」とするということだ。Blosxomblogに[もう一つの鉢のカニサボテンの花](#)を入れて、10時頃家を出て、足が痛いので中学校の前でタクシーを拾って渋谷へ。東横線の特急で「みなとみらい」で乗り換えて馬車道駅で下車。「BankArt1929Yokohama」へ。11時30分の前だったので、まだ開場してなくて岩井君に裏口から入れて貰う。11時45分から神谷知里さん佐藤千穂さんの16ミリ映像作品『べるなるほおれ』、12時55分からの大倉千代子さん谷川羊布子さんのDV作品『シーラの為に』を見て、地下のスナックで木村和代さんからスパゲッティをご馳走になる。時間がなく早食いする。その後、2時5分から星谷ひかりさんのDV作品『日本観光』、3時20分から高野朋子さんの16ミリ作品『ファンキー・ヤンキー・ベイビー』、谷口功君のDV作品『回折』、鈴木洋平君・山本祐輔君のDV作品『素人5時間』、李一河君と矢田怜子さんのHDV作品『テラ指数11,123』を見た。6時半近くになっていた。それぞれの作品を面白く見ることができたが、さすがに疲れて、足腰が痛くなって、地下鉄などの階段を降りるのがきつかった。卒業生の野上絹代さんと篠田千明さんと東横線で渋谷に出て、一緒に「松川」で鰻重を食べて話をした。篠田さんは家でご飯作っているということで、鰻重は食べないでビールだけ飲んだ。食べた後、わたしはタクシーで帰宅。風呂を沸かす間、箕面市の野村健太さんに『風の積分』などの5作品のDVDを4枚を封筒に入れて、郵便で送る為にポストに投函しに行く。風呂に入り、出てから林檎、煎餅、牛乳。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:14:57 - shirouyasu - No comments

2006-12-11

小ホタテ入りのぶり大根を煮る。

10日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「やっかいな問題」を扱うやっかいなことが書いてあったが、うまく飲み込めなかった。『機 ーともに震える言葉』について書き始める。午前中、書き出しを三つ書いてすべてボツにする。[別の鉢に咲いたカニサボテンの花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理がきつねうどんを作って昼食。仮眠。改めて原稿を書き始めて、まあまあ、進められる。麻理に勧められて腰にホッカイロを入れたら暖かくて気持ちよい。5時過ぎて、ホタテ入りのぶり大根を煮始める。6時過ぎに出来て、その後ちょっと原稿。7時廻ってホタテ入りぶり大根と麻理が作ったみそ汁で夕食。ホタテの味が強く、ブリの味が負けていた。寝室に行って、ベッドに横になってHNK大河ドラマ「功名が辻」の最終回を見る。山内一豊を始め、淀、秀頼、家康とばたばたと死んで戦国時代の終わりにもなった。人を殺して生き延びるとというのが戦国時代なら、人を殺さないで生き延びるっていう現代はどういう時代なのかとちらっと思う。仕事場に下りて原稿を書く。今夜中には書けないと判って、書肆山田の鈴木一民さんに電話するが出なかったが、しばらくして一民さんの方から掛かってきて、15日までいいということになりホッとす。原稿を書いていて忘れてしまい、風呂が沸きすぎていて、かなり水でうめて入る。風呂から出て、林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:31:00 - shirouyasu - No comments

2006-12-10

『機 ーともに震える言葉』を再読辿り直す。

9日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』は、第2章に入って、「意識そのもの」というまだ解き明かされていない「やっかいな問題」を扱うということが書いてあった。吉増剛造・関口涼子共著『機 ーともに震える言葉』をノートを取りながら辿り直す。八月の末に一度読んだが、細かいところを忘れていた。厚揚げと椎茸を煮て、そのつゆ蕎麦で昼食。仮眠。起きて、太股脇にお灸。仕事場で『機 ーともに震える言葉』の辿り直しの再読を続ける。4時過ぎにコーヒーを飲んで、[六つ目のアマリリスの花](#)をBlosxomblogに入れる。再読。6時過ぎて休憩、夕刊を見る。再読。7時半頃、昨日の蕪とイワシにすり身団子の煮付けとほうれん草とみそ汁で夕食。寝室でテレビ見ながら仮眠。風呂沸かす。9時半過ぎに風呂に入る。出て、麻理に腰にお灸を据えて貰う。林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。仕事場に行き、再読を終わる。『機 ーともに震える言葉』を辿り直すのに一日かかった。それから「灰皿町blog日記」を書く。今日は仙台に行って、「せんだいメディアテーク」で今日から開かれている、「せんだいアートアニュアル2005」のグランプリを受賞した[村岡由梨の「yuRi=paRadox ~眠りは覚醒である~」](#)を見るはずだったが、足腰が痛くておぼつかなく、行かなかった

00:31:32 - shirouyasu - No comments

2006-12-09

足腰が痛く、映像演劇学科卒制発表会のオープニングに行かない。

8日に朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識の階層の境を消していき、自他の境も消すというのが東洋の考え方で、西洋の古典的な物質主義モデルでは、意識と物質とを分けて考える。しかし、最近では東洋と西洋が融合するような考え方が出て来ていると書いてあった。横浜の「BankArt1929」で今日から始まる[映像演劇学科卒制発表会「CLIMAX」](#)に行くつもりだったが、足腰が痛く、行く

のを止める。メールに返事したり、mixiを見たりする。麻理が厚揚げ煮込みうどんを作って昼食。麻理に腰と大腿にお灸を据えて貰う。寢室のベッドで仮眠。2時過ぎに自転車でパルケに行って、厚揚げ、イワシのすり身団子、ぶり、大根などを買ってくる。それから、吉増剛造・関口涼子共著『機 一ともに震える言葉』の対談を読み返す。5時廻って、蕪と厚揚げとすり身団子と大根の残りを煮る。蕪のみそ汁も作る。夕刊を見る。7時頃、蕪の煮付けとみそ汁で夕食。寢室のベッドで仮眠。9時に仕事場に行って手紙を一通書く。その間に風呂を沸かすが、沸かしすぎで水でうめる。足腰を温めるために風呂に入る。風呂から出て林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に下りて、映像演劇学科のわたしがこれまでに積み合った1989年の一期生から2003年の十五期までの学生たちの名前の一覧表をエクセルで整理する。それから、「灰皿町blog日記」を書く。Blososxomblogに[可愛らしく咲いたハイビスカスの花](#)を入れる。

01:12:16 - shirouyasu - No comments

2006-12-08

多摩美の「ドキュメンタリー映画論」の最後の授業。

7日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識の階層のことが書いてあった。「赤信号を知っているということを意識している、そのことを考える」というように意識の意識の意識という階層ができる。これは4, 5階までが何とかということらしい。昨日、筋トレ体操をやったからか右腰と膝が痛い。映像演劇学科の授業「ドキュメンタリー映画論」で、今日話すことをメモする。[枯れ始めたアマリリスの花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理が豆腐入りつゆ蕎麦を作って昼食。30分ぐらい仮眠。メモを書いて、メールで助手の山崎さんに送ってプリントを頼む。4時過ぎ家を出て、地下鉄で表参道と二子玉で乗り換えて上野毛下車。さくら庵で雉焼き重を食べる。そば屋のかっちゃんとブルーレイディスクの話をする。帰りに長野から送ってきたという大きな林檎を3個貰う。多摩美映像演劇学科の講師控え室へ。貰った林檎の一個を山崎さんに、もう一個を木村さんにあげる。残りの一個をわたしの鞆に入れる。萩原さんに進呈する先日書いた色紙を木村さんに託す。6時から「ドキュメンタリー映画論」の授業。作者にとっても「映像は一種の欲望の装置」という筋立てで、「映像のシステム」「映像の機能」「映像の意味作用」と話す。この授業で、あと21日の試験を残して、多摩美でする授業は一応全部終わったということになる。終わって、2号館の地下の視聴覚教室から、3号館の2階の研究室にある控え室に戻るとき、90分立って話したので膝と腰が固まって階段の上り下りがきつい。ほしのさんとちょっと話をする。それからタクシーを呼んで貰って、タクシーを待つ間、校庭の夜の銀杏の黄葉の下に佇んでいた。タクシーで帰宅。麻理に風呂の水を換えて貰って、沸かして入る。身体が幾らか楽になる。さくら庵で林檎、里芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:51:02 - shirouyasu - No comments

2006-12-07

テレビディレクターの山本遊子さんと一緒に食事する。

6日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識は概念を元にしていてと書いてあった。雑誌「安心」にあった筋トレ体操をする。mixi、メール、そして野村健太さんの[Blog「みみのまばたき」](#)に先日送った『比呂美 一毛を抜く話』などわたしの映像作品について書かれているのを読んで、コメントを書き込む。麻理が井上病院から帰ってきて、野菜天ぷらの天ぷらうどんを作って昼食。食後、仮眠。起きて、メールの返事を書いていると、野々歩がネムちゃんを連れて、16ミリフィルム用のリールを取りに来る。麻理とネムちゃんは、猫のママニに煮干しを食べさせたりする。野々歩から由梨さんの仙台での展覧会の作品制作が大詰めに来て

いるという話を聞く。彼らが帰った後、5時過ぎに家を出て、地下鉄千代田線で日比谷下車。有楽町マリオン前に行き、丁度大時計が6時を告げて人形が出て来て演奏し始めた時に、待ち合わせした多摩美の卒業生の山本遊子さんが来た。向かいのニュートウキョウの7階の中華料理店で、彼女とビールと紹興酒を飲んでコースの料理を食べて話をする。山本遊子さんのこの一年CSのテレビ放送で30分のドキュメンタリー番組を数本作った話を聞いた。テレビ制作の現場にいる人たちの意識のあり方が伝わってくる。そのこととディレクターをやっている自分についての反省の気持ちも語られていた。9時前に、地下鉄で有楽町から新宿に場所を移して、「ナジャ」に行く。山本遊子をクロちゃんに紹介する。『草の影を刈る』を貸した福田さんが丁度来ていて言葉を交わす。唐組の若い俳優さんたちに紹介される。山本遊子さんからはその彼女が作ったドキュメンタリー番組の対象になった人たちのことを聞き、中でも「風に吹かれた豆腐屋ジョニー」の「男前豆腐」という話が印象に残った。10時半ごろ「ナジャ」を出て、タクシーで山遊を新宿駅南口まで送って、西参道を廻って帰宅。[メキシカンセージの花](#)をBlosxomblogに入れて、居間で林檎、里芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:13:33 - shirouyasu - No comments

2006-12-06

遅くなって、薦田愛詩集『流離縁起』を読み始める。

5日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「恐怖」の意識の二重構造のことが書かれていた。恐怖の対象は視覚から直接、小脳扁桃に伝わって、「低次表現」として遺伝子に組み込まれた対象に対する逃げるとか闘うとかという行動を起こすが、恐怖の意識は視覚野から前頭葉に伝わって「高次表現」として起こるといふ。昨日買ってきた雑誌「安心」に載っていた体操をする。仕事場に行って、mixiやメール。残っていた最後のカレーでカレー蕎麦を作って昼食。食後、Blosxomblogに[一つ咲いたシクラメンの花](#)を入れてから、自転車で代々木上原駅の下にある銀行へ現金を下ろしに行く。坂の途中で自転車を置いて行こうとしたら、自転車が倒れてきて、瞬間支えようとしたわたしも転んでしまう。丁度通りかかった若い人が、「大丈夫ですか」と言って自転車の籠から飛び出た紙などを拾ってくれる。お礼を言って銀行へ。漢方薬局でブルーベリーのサプリメントを買ってから、パルケに行って南瓜、インゲン、蕪、明太子、かき揚げと野菜の天ぷらなどを買って帰る。コーヒーを淹れて飲んでから、ちょっと仮眠。夕刊を読んだ後、南瓜とインゲンを煮る。ほうれん草を茹で、里芋を茹で、明太子を焼いて、みそ汁でご飯で7時過ぎに夕食。食後、寝室のベッドに横になってNHKの「クローズアップ現代」の老人の孤独を防ぐために話し合いの場を持つボランティアの人たちの活動を見る。次の歌番組もちょっと見る。9時過ぎに風呂に入る。出たら、林檎、里芋、一口羊羹、牛乳。仕事場に下りて、ようやく薦田さんの詩集『流離縁起』を読み始める。薦田さんとは会ってこの詩集について話をするようになっていたので、構えてしまってたなかなか読めなかった。三分の一読んだところで、「灰皿町blog日記」を書く。

00:41:24 - shirouyasu - No comments

2006-12-05

Dance Mediumの『The invisible fest—見えない森』を見る。

4日の朝、トイレで『脳と意識の地形図』を読んで、昨日読んだところを誤解していたのに気が付いた。「言葉で語ろうとすれば語れる経験を意識と呼ぶ」と書いたが、これは間違いで、「意識と自覚するところが意識」ということだ。意識には高次の意識と低次の意識があり、低次になる程自覚が薄くなるという考え方をする。10時15分廻って家を出て、坂の下でタクシーを拾って青山病院へ。11時の予約

で整形外科の小澤医師に診察して貰う。股関節が悪いのかもと、股関節のレントゲンを撮る。その治療として、来年の一月末まで薬を飲んで体操してみようということになる。12時半近く支払いを済ませて、病院の前の薬局で50日分の薬を買う。薬剤師さんが薬について細かく説明してくれる。薬手帳というのをくれる。裏道を歩いて渋谷駅前に出て、平野屋でけんちん蕎麦を食べる。文教堂に行き、股関節療法特集の「安心」を買って、東横デパートに行き、冬用の室内履きを買う。エスカレーターで一階に下り、バス亭に面した「CRAIGHTON'S CAFE」でコーヒーを飲んで、ガラス窓から道行く人々をちょっと眺める。それから笹塚行きのバスに乗って代々木上原駅前下車。NHKの付近の銀杏の並木の黄葉が綺麗だった。[五つ咲いたアマリリスの花](#)をBlosxomblogに入れる。眠くなって仮眠。起きて夕刊を読み、5時半頃、残りのカレーで早めの夕食を食べる。6時廻って家を出て、小田急で新宿に出て、2丁目の「新宿タイニイアリス」に行く。舞踏家の正朔さんの招待でDance Medium公演の『The invisible festー見えない森』を見る。長岡ゆり、正朔、小玉陽子、宇田川正治、亀田欣昌の五人のダンサーによる「舞踏ショウ」というような出し物だった。グループになったり、対になって、闘うように見えたり、何か物語風に場面は展開するが、ダンスそのものは紛れもなく舞踏に見える。内発的な身体の動きが話を語る要素になってしまうところの境界にあるというように見えた。9時頃終わって、「タイニイアリス」の直ぐ近くの「ナジャ」に行き、ウイスキーの水割りを一杯飲む。「ナジャ」のクロちゃんがこの「灰皿町blog日記」を読んだと言っていた。タクシーで帰宅。林檎、小あんパン、煎餅、牛乳。「安心」に載っている股関節療法体操をちょっとやってみる。仕事場に行き「灰皿町blog日記」を書く。

01:01:11 - shirouyasu - No comments

2006-12-04

蕪とあぶらげを煮る。『極私的な多摩王の感傷』を再見。

3日は遅く起きて昼近くの朝食後、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識の存在の仕方はよくわからない。そこで言葉で語ろうとすれば語れる経験を意識と呼ぶというように書いてあった。テーブルに置いてある麻理が貰ってきた花束の[三つ咲いた百合](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。野々歩がDVカメラを借りに来て貸す。テレビを点けたら大学ラグビーの早大対明大戦をやっていたので前半を見て、カレー蕎麦を作って食べながら後半を見る。ラグビーのルールは全然知らないが、身体のぶつかり合いが面白い。早大に「五郎丸」という名字の選手がいた。あごひげの選手が何人かいて、下唇の下にはやしている者もいた。五郎丸君もはやしていた。ラグビーを見た後、VHSテープのラベルが貼ってないのをデッキに掛けて見て整理する。それから、先日買ってきた蕪の葉が黄色くなりかけたので、油揚げと一緒に煮てしまう。米をといで炊く。仕事場に行き、机の近くの置きっぱなしになっていたCD-ROMやDVD-Rのディスクの中身を見て整理する。中に『極私的な多摩王の感傷』のDVDディスクがあって×が付いていたが、何がいけないのかと、確かめようと始めから終わりまで見てしまう。クレジットタイトルが間違っていた分だった。去年の今頃の、多摩美の上野毛キャンパスの黄葉した銀杏が懐かしかった。麻理が帰ってきて、買ってきた餃子を焼いて、蕪の煮付けと豆腐とわかめのみそ汁とで夕食。食後寝室のベッドに横になってNHK大河ドラマ「功名が辻」を見て、次の国民健康保険の行き詰まりを扱ったNスペを見る。保険料が払えないで保険証がなく、医者にかかれない人が30万人いるという。風呂に入る。風呂から出て、林檎、どら焼き、牛乳。仕事場に行き「灰皿町blog日記」を書く。

01:16:54 - shirouyasu - No comments

2006-12-03

墨と筆で、3月から延ばしてきた約束の色紙を書く。

2日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識の「高次表現理論」ということが書いてあった。「高次表現理論」というのは、刺激を認知して働く神経活動とは別の神経活動が働いて意識が生じるという考え方で、赤い色を認知して「赤い」という言葉が意識として生まれるということのようだ。[四つ目のアマリリスの花](#)が咲いたのをBlosxomblogに入れる。それから、今年の3月に退職したとき、萩原朔美さんから頼まれた色紙として、「続私小説的プアプア」の一節「走れプアプアよノ純粹もも色の足のうらをひるがえせ」を、墨と筆で書く。3月の約束が延びに延びて今になったのは、筆で書こうと思って、筆で書く緊張に向かう気分をなかなか持てなかったからだ。12月になって追いつめられて、ようやく書く気になったというわけ。新聞紙に10回以上練習して書いたが、下手な字はどうしようもないのだ。書いた後、大きなため息が出る。カレーで昼食。仮眠。3時前に起きて、自転車でバルケに行って、大根とメカジキ、牛乳、どら焼き、林檎などを買ってくる。胃を悪くしている麻理に大根とメカジキを煮る。夕刊を見る。仕事場で『時には眼を止めて』をDVDにダビングして、先日ダビングした『風の積分』などのDVDにラベルを作って貼る。7時頃、カレーと大根の煮付けという変な取り合わせで夕食。食後、寝室のベッドに横になって、「NHK杯フィギュアスケート女子」の優勝した浅田真央選手などの滑りを見る。ちょっと仮眠。仕事場に下りて、Macの「ターミナル」でUnixのコマンドを打って遊ぶ。居間に行って林檎、どら焼き半分、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

00:25:35 - shirouyasu - No comments

2006-12-02

「現代詩手帖」11月号の「現代詩新人賞選考座談会」を読む。

12月1日の朝は、『脳と意識の地形図』の昨日の朝読んで夜には思い出せなかったところをトイレで読み返した。意識の存在の仕方は、冷蔵庫の中の灯りに似たところがあると書いてあったのだ。開けると点灯するがしめると消える。ドアの開け閉めでは、閉めたとき本当に消えているかを知ることができない。外から来る刺激を絶えず全身で受け止めているが、それを意識しているわけではない。そのどこかに意識を働かせる。その「働かせる」というそのことを知ることができないというのだ。玄関のに入ったところの階段付近に溜まった郵便物や送られてきた本などを整理する。それから、現代詩新人賞を受賞した中尾太一さんのインタビュー記事を「朝日新聞」で読んだという誰かのmixiの日記を、昨夜、見たのを思い出し、その新聞記事を読み、続けて「現代詩手帖」11月号の中尾さんの詩と、吉増剛造さん、稲川方人さん、平田俊子さん、野村喜和夫さん、城戸朱理さんによる「現代詩新人賞選考座談会」を読み始める。少し読んだところで麻理がナメコ蕎麦を作って昼食。仮眠。1時間ぐらい眠ってから、起きて、「座談会」を読み継ぐ。5時過ぎて、人参、玉葱、牛蒡、蓮根、馬鈴薯、茄子と牛肉のカレーを作り、ご飯を炊く。夕刊を読んだ後、7時前にそのカレーで夕食。食後、寝室のベッドでNHK杯の女子スケートをうとうとしながら見る。8時過ぎ仕事場に行って、「座談会」と4名の奨励賞の詩を読む。中尾さんの詩は、言葉そのものが内容という詩で、人の関係にこだわっているが、こだわればこだわる程ずれていってしまう、という意味合いのことが読み取れる作品で、言葉の日常の慣用から解放されたいという気持ちが強く出ているように感じた。奨励賞のどの詩も言葉の慣用的な使い方を拒否して、その拒否の仕方にそれぞれ工夫をしていると読めた。言葉からの解放を言葉でやるしかないから、ややこしいことになるのだと思った。ダンスだと身体が消えてしまうなんてことはないから、見ていて気が楽だが、言葉はしんどいようで、読むのに身体的な苦痛を感じたということだ。「座談会」では、選考委員の皆さんは彼らの詩に丁寧につき合っていて、皆さんの好みと考え方が見えてくるところが面白かった。読み終えた後、風呂に入った。風呂から出て、林檎、薩摩芋一切れの半分、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。それから、昼間入れ忘れた[三つ目の花が咲いたアマリリス](#)をBlosxomblogに入れる。

01:21:36 - shirouyasu - No comments

2006-12-01

久しぶりに石田尚志さんと飲んで話す。

30日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』に書いてあったことが十五時間ほど経った今思い出せない。トイレから出て、盛りのカニサボテンの花を撮る。昨夜会った福田さんが見たいと言っていた『草の影を刈る』のDVDを包装してポストに投函しに行く。送ってからメールで送ったと伝える。[カニサボテンの花](#)をBloxomblogに入れる。それから、今日の映像演劇学科の授業「ドキュメンタリー映画論」で話すことのメモを取り始める。残すことあと2回になったので、今わたしも考えている「映像について」話そうと思う。今回は、反射光を何らかの媒体で捉えたものを視覚で認知したところの映像というもの。その再現の仕方について、それが産業と市場を形成していることなどをメモする。メモの途中で、麻理が豆腐とナメコの入った蕎麦を作って、昼食。仮眠。講義のメモを更に続けて、助手の山崎さんにメールで送ってコピーを頼む。このメールは山崎さんが会議に出ている伝わらなかった。4時過ぎに家を出て地下鉄で表参道と二子玉で乗り換えて上野毛下車。さくら庵で雉焼き重を食べる。多摩美の映像演劇学科の講師控え室へ行く。木村さんに頼んでコピーして貰う。6時から、「ドキュメンタリー映画論」の授業。7時半に授業が終わって、研究室の前の廊下のギャラリーに展示してある加藤さん山崎さんの作品、写真スタジオに展示されている内野君の共同研究の作品を見る。9時廻って、石田さんと下校して、ナセヤに行ってビールを飲んで話をする。横浜美術館の「アーティスト・イン・ミュージアム」で作品制作中の石田さんは、スケジュール表が真っ黒で、そういうことはこれまでの生涯で初めてと言っていた。その後、隣の席で加納さんが卒業生の川田さんと藤谷さんと、来年の三月の「清水邦夫教授退職イベント」で上演される三作品の衣装の打ち合わせを始めた。それが終わって席を一緒にしていろいろと話した。12時近くナセヤを出て、タクシーで加納さんを三茶まで送り、石田さんと新代田まで同乗して帰宅した。夕刊を見ながら林檎、大福半分、薩摩芋半分、煎餅、牛乳。仕事場に行き、「灰皿町blog日記」を書く。

02:03:46 - shirouyasu - No comments